

本日の議事と資料構成

※第3回研究会資料3から抜粋

速報性のある包括的な消費関連指標の開発に向けて

速報性のある包括的な消費関連指標の開発に向けて、3つのアプローチを同時並行的に検討してはどうか。

資料2
資料3

①マクロの消費変動をビッグデータ等から推計する方法の検討

⇒ 第4回から第6回において検討

・ 新しいデータソース（ビッグデータ）を用いて作成できないか

・ ビッグデータ等を補正・合算し、費目・品目レベルで、マクロの消費変動を推計できないか。

・ 擬似的なサンプルサイズの拡大によって充実できないか

・ 単身モニター調査によって単身世帯の把握を、家計消費状況調査等によって高額消費の把握を充実させ、新たな指数を作成できないか。

・ ビッグデータによる需要側統計の補完・補強は可能か。

資料4

②世帯の消費変動を包括的に把握可能な指標作成の方法（家計調査の補完・補強）の検討

⇒ **第3回**及び第4回において検討

・ 家計簿記帳の簡略化（電子マネー等への対応）、ICTの導入（オンライン家計簿）
※統計委員会で審議

資料5

③家計調査の改善・刷新

⇒ 第4回において状況報告

・ Fintechとの連携や家計簿入力の自動化などICTを最大限活用し、調査方法を刷新

※本研究会で御議論いただきたいこと